

「しまなび」プログラムの成果の活用について（平成 30 年度）

I 平成 30 年度における取り組み

平成 30 年度については、当該年度中に具体的に成果が活用されたものはないが、活用の実現を念頭に、来年度の「しまなび」プログラムでの継続した取り組みが検討されているものは次のとおりである。

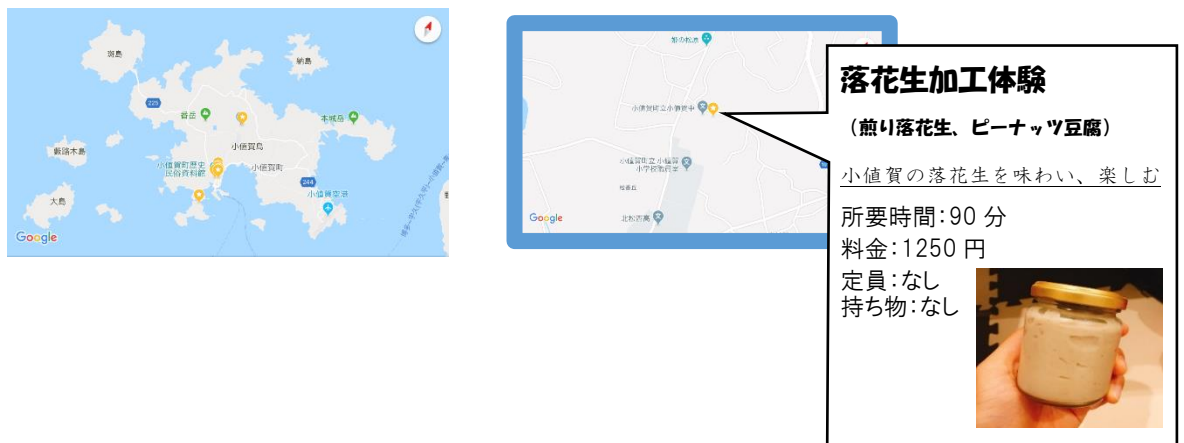
① 小値賀

小値賀の飲食店の情報を伝えるためにホームページ上にサイトの新設



② 小値賀

体験プログラムの情報を伝えるためのマップの作成



③ 新上五島

昨年度に作成したマップ（ロードサイクルを活用したサイクリングマップ）に引き続き、ママチャリを活用したサイクリングマップの作成

④ 新上五島

特定の観光地のQRコードを開くと、該当する観光地を動画により紹介するマップの作成

⑤ 的山大島

特定の観光地のQRコードを開くと、該当する観光地をドローンにより撮影した動画を用いて俯瞰的に紹介するマップの作成

II 継続した取り組み

杵岐（杵岐産品を用いた商品による地域活性化プロジェクトの取り組み）

平成 28 年度から3ケ年に亘って取り組んでいるが、これまでの「カツサンド」では諸問題の解決に困難な点が多くあるため、今年度は杵岐産牛肉を用いた「ライスボール」に商品を変更し、商品開発やパッケージ作成等に取り組んだ。

今年度の最後の取り組みとして、11月16日（金）～18日（日）において、全国商工会連合会が開催する、日本のご当地グルメを集めた物産展に出店し、販売を行った。（全国来場者数 15 万人以上を誇る日本最大級の物産展、東京）

